

The Learner

Doshisha International Academy, Elementary School

April
ISSUE



April 13, 2020
Volume 101

Message from the Head of Schools

新年度のはじめにあたって

新入生のみなさんご入学おめでとうございます。在校生のみなさんご進級おめでとうございます。保護者、ご家族の皆様にはお子様の成長を見られ、この節目のとき、大変お喜びのことかと思えます。おりしもこの冬に発生した新型コロナウイルス感染症の影響で、学校長として、入学式、始業式のこのスタートのときを皆様とともに喜びできないこととなり、非常に残念でなりません。校長室から見える子どもたちのいない広いグラウンドを見ながら、学び舎に一刻も早く、子どもたちの元気な姿が戻ることを願っています。



私は4月から、同志社国際学院初等部校長に就任いたしました。これまでは、母校である同志社大学において、30数年にわたり、学部・教務の教育支援業務、課外活動を含む学生生活全般を支援する学生関連業務、大学の管理運営に関する業務等に携わって参りました。大学での業務では学生のためにどうなのかを基軸に判断することが多くありましたが、国際学院においても、子どもたちのためにどうなのかを一番に考えながら教育活動や学校運営を進めて参りたいと考えております。

学校長として、国際学院に学ぶひとりでも多くの子どもたちが、元気に休まず学校に来て、友達と勉強したり、遊んだりするなかで、「学校が楽しい!」「学校が大好き!」と思ってくれることが、もっとも大きな喜びでもあります。そして、卒業生が、将来にわたってここで学んだことを、誇りに思い、本当に国際学院に来て、学べたことが良かったなと思えるような学校であり続けるよう努力して参りたいと思っております。

開校10年目を迎える国際学院の教育、そしてそれを支える教育環境のさらなる充実に取り組み、躍動感あふれる学園づくりに邁進していく所存です。

保護者、ご家族の皆様には、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

校長 谷本 高彦



キリスト教 教育テーマ

4月：希望 April: Hope

「あなたは炎の蛇を造り、竿の先に掛けなさい。蛇にかまれた人は誰でも、それを見れば、生き延びることができる。」

旧約聖書 民数記 21 章 8 節

「キリストは、私たちのために呪いとなって、私たちを律法の呪いから贖い出してくださいました。『木に掛けられた者は皆、呪われている』と書いてあるからです。」

新約聖書 ガラテヤの信徒への手紙 3 章 13 節

(何れも聖書協会共同訳)

最近、新型コロナウイルス関連のニュースで、WHO（世界保健機関）のシンボルマークを目にする機会も増えました。ウィキペディアによると、これは「アスクレピオスの杖」と呼ばれ、ギリシア神話に登場する名医アスクレピオスの持っていた蛇の巻き付いた杖を表し、医療・医術の象徴として世界的に広く用いられているそうです。

ところが実は、旧約聖書の中にもこれと似たような物が登場します。それが上掲の聖書箇所場面です。

古代ヘブライ民族は指導者モーセを与えられ、神の憐れみによってエジプトの苦役から脱出することができました。最初のうちこそ神とモーセに感謝していた民たちでしたが、時間が経つにつれて荒れ野での生活に不満をこぼすようになります。例えば「お腹が空いた。」という民たちに、神は「マナ」と呼ばれる不思議な食物をお与えになりますが、その食物に飽きてきた人々が今度は、「誰が私たちに肉を食べさせてくれるのだろうか。エジプトにいた頃、ただで食べていた魚が忘れられない。きゅうりもすいかも、葱も玉葱もにんにくも。今では、私たちの魂は干上がり、私たちの目に入るのは、このマナのほかは何もない。」と、泣き言を言うようになりました。この後で神は渡り鳥である「うずら」を民たちのところへ向かわせる、という形で肉をお与えになるものの、食欲の結果、一部の人々には災いが下されることになるのです。反抗しては神に戒められて反省し、また反抗しては戒めを受けて反省し…を繰り返していた民たちに、再び災いが起こったのが民数記 21 章の物語です。

神とモーセに対して「なぜ、私たちをエジプトから導き上ったのですか。この荒れ野で死なせるためですか。パンも水もなく、私たちは、この粗末な食物が嫌になりました。」と非難した民たちに、神は罰として「炎の蛇」を送られました。この蛇にかまれて大勢の人が死んだので、民は再び反省してモーセに執り成しの祈りを願います。その時に神がモーセに造るようにお命じになったという物が、炎の蛇をかたどった青銅の像です。この像を竿の先に掛けたものを仰ぎ見れば、たとえ蛇にかまれた人でも生き延びることができる—そのようなお話なのです。

新約聖書では正しい神の裁きに耐え切れなくなった人間のため、キリストの十字架をただ仰ぎ見るだけで救われる、という道を神が開いてくださったことが「福音（良い知らせ）」として、述べ伝えられています。古来、「木に掛けられる」とは死刑に当たる罪を犯した者が処刑されることを意味し、その者は「神に呪われた者」と、考えられていました(申命記 21 章 22-23 節)。キリストが罪なき神の御子でありながら敢えて十字架に掛けられ、本来罪人が受けるべき「神の呪い」を一身に受けて、父なる神に全ての人の罪を赦してください願われた以上、仲裁者であるこの御子キリストを心から仰ぐことによるのみ、正しい神の激しい怒りから逃れて生きることができる、というのが福音の真髄です。

こういうわけで、先の青銅の蛇のお話は、新約聖書においてはキリストの出来事を彷彿させるものとして語られます。「そして、モーセが荒れ野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。」(ヨハネによる福音書 3 章 14、15 節)

Christian Education Committee 石川眞弓



モーセと青銅の蛇。見る者がキリストの出来事と重ね合わせて理解できるよう、竿は十字架の形をしている。



ギリシア神話に登場する「アスクレピオスの杖」をモチーフとした

WHO のシンボルマーク

同志社国際学院初等部の対応

◇感染拡大収束にむけて

この度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に関わり、本校も緊急事態宣言を受け臨時休業となりました。

それに伴い、当初の行事予定も大きく変更せざるを得ない状況となり、現在どのように対応すべきか検討中ですが、方向性としてしましては、政府の方針に従い、3密（密集、密閉、密接）を避ける対応を考えていきます。

新学期を迎え、本来ならば始業式、入学式を経て2020年度のスタートを切るところですが、昨今の現状を鑑みると、まずはこの感染拡大を止め、収束に向けての流れを作らなくてはなりません。北海道大学の教授の試算によりマスクと接触が8割減なら感染者が減少に転じると報じられています。

緊急事態宣言の期間や学校の休業期間が更に延長されることがないようにするためにも、この4週間、感染防止の対応をしっかり行うことが何よりも大切になります。

皆様方におかれましては、ご自身の健康に十分ご留意いただくと共に、外出を控え、他者との接触を極力なくすよう取り組んでいただきますようお願いいたします。



kantei.go.jp

◇今後の行事予定について

5月の予定につきましては、年間行事予定にありました、9日の土曜参観、23日の土曜登校・学校説明会は取りやめることといたします。よって、11日（月）25日（月）の振替休日はなくなり、通常授業といたします。

また、swimmingや宿泊関係の行事につきましても、春学期に予定されていたものは取りやめといたします。

4年生につきましては、6月に実施予定の京都私小連合同音楽会も中止となりました。ご理解とご協力いただきますよう、よろしくをお願いいたします。（副校長 城 恵市）

4月の主な行事・予定

1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	臨時休業（～5/6まで）教科書など発送
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	オンライン授業開始 第1週
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	オンライン授業 第2週
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	オンライン授業 第3週
28	火	
29	水	
30	木	

5月の主な行事・予定とお願い

5月7日(木)学校再会予定

以降の5月行事については、今後の状況を見据えて決定したことを保護者文書としてHP上にアップしていきます。その際は、ミマモルメにて皆様にお知らせいたします。